

広報

がまいし

希望の聖火 思いつなぐ



6月17日、釜石市魚市場から市民ホールTETTO間を東京2020オリンピック競技大会の聖火が駆け抜けました。8人のランナーは、沿道からの拍手に笑顔で応えながらトーチをゴールへつなぎました。

アンカーを務めた「ヒゲの森」こと森重隆さんは「(ラグビー日本選手権優勝を祝して)パレードした道を再び走れることに、声が詰まるような思い。ラグビーワールドカップ2019開催の時も、スポーツがこんなにも人の心を動かすものかと感じた。今回のオリンピックもやってよかったと、みんなが思うような大会になれば」と開催に期待を込めました。

もくじ

- ②新型コロナワクチン接種関係
- ⑤消防職員募集 他
- ⑥市職員募集
- ⑦オリンピック関連情報
- ⑧新市庁舎建設への取り組み
- ⑩国保税軽減 他
- ⑫イベント情報
- ⑬市民のひろば
- ⑭まちの話題
- ⑯こどもはぐくみ通信
- ⑰まちのお知らせ
- ⑲保健案内板
- ⑳釜石の歴史よもやま話